


誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立篠崎第二小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和8年度の目標	50.0%	50.0%
令和7年度の目標	45.0%	45.0%
令和6年度の結果	39.5%	41.4%
令和5年度の結果	31.6%	42.1%

令和6年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第6学年	40.4%	47.4%
第5学年	51.1%	55.3%
第4学年	57.2%	66.7%
第3学年	44.5%	57.8%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究として、低・中・高学年、専科でそれぞれ設定したテーマに向けた授業研究を行う。積極的に授業を見せ合い、指導助言をし合うことで、授業力向上を目指す。 ・3年生以上で社会と理科を中心とした教科担任制を実施して、学習指導への専門性を高め、児童の実態に即した授業を展開できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベーシックドリル活用期間を各学期で実施する。1・2学期は前学年の復習、3学期は当該学年の復習をする。 ・東京ベーシックドリル活用期間終了後に診断テストを実施し、定着度合いを確認する。 ・昨年度の診断テストの結果を基に、放課後補習教室の対象児童を選定する。 ・朝学習やフレキシブルタイムに東京ベーシックドリルやミライシードのドリルパークに取り組みさせる。 ・4、5年生は、学習カルテに取り組み、習熟が不十分な問題に繰り返し取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字、音読、算数を基本的な宿題として設定し、保護者に取り組みの協力を呼び掛ける。 ・発達段階に応じて自主学習に取り組みさせ、取り組みの様子を紹介し合う。 ・江戸川っ子study week!でミライシードのドリルパークに取り組みさせる。 ・各学年に応じた家庭学習時間の目安を提示し、必要に応じて宿題以外の課題に取り組みさせる。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> ・学習中に話し合い等の小グループを編成する際に、どの児童も意欲が継続し、話し合いが活発に行われるような編成になるよう努める。 ・児童の実態に即しためあてを立てさせたり、課題のヒントを与えたりできるような学習計画を立案する。 ・多くの児童が自信をもって答えられる発問を準備し、それに答えさせることで意欲を継続させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に2回程度、各回30分以上の補習を実施して、各教科の基礎・基本の定着を図る。 ・診断テストの結果を基に、次回の東京ベーシックドリル活用期間で取り組む課題を選定する。 ・ミライシードのドリルパークで自分の苦手分野に取り組みさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の宿題の取り組み度合いに応じて、保護者と連携を取りながら、児童の実態に合わせた宿題の量となるよう調整をする。 ・江戸川っ子study week!でのドリルパークで取り組む課題を精選し、確実に取り組ませる。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の質問紙調査「国語（算数）の学習の内容はよく分かりますか」肯定的な回答 各70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベーシックドリル診断テストの正答数増加児童80%以上 ・区学力調査の国語科において、A・B層の割合を全学年50%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸川っ子study week!ミライシード実施率90%以上 ・全国学力・学習状況調査の質問紙調査「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか」30分以上 80%以上